

アカデミー通信

発行者: アカデミー学院
責任者: 舟田 謙二
254-0903 平塚市河内 520-1
TEL 31-6831 FAX 35-1690
URL http://www.academygakuin.com
HOTLINE: jfunada@gmail.com

入試まで3か月?

中3生の県立高校入試日は2月16日。1月1日から数えるとあたたつたの1か月半。しかし、しかしです。なんと、アカデミー生には特別措置として3か月の期間が与えられているのです。なんとという特権でしょう。

その秘密は、入試日直前まで、英語・数学と国語・理科・社会の授業がそれぞれ2日ずつ、週4日体制で学習できるのです。これだけで実質通常授業の3か月分に当たります。この集団授業のほかに個別授業や特進コースを選択履修することもでき、さらに時間数を増やせます。

し、しかも、入試前日まで、週日・週末すべて空き教室がある時は、補習もしくは自習を提供しているのです。この補習・自習の時間まで加えると4か月、あるいはそれ以上になるかもしれません。

こんなサービスをしている塾は全国広し、と言えどもそうはないうではないでしょう。

毎年、この時期になると、多くの中3生が、「家にいる時間よりもアカデミーにいる時間の方が長い」とか、「アカデミーの授業が毎日あるなら毎日でも来る」と言っています。



入試に向けた心構えと 得点アップ 合格の10カ条

中3生、そして公立中高一貫校受験者は、いよいよ入試本番です。不安もあるでしょうが、本番までの期間を過ごす上での心構えを伝授します。ぜひ実践してください。

1. 過去問や予想問題を数多く解き、問題のパターンや解答のパターンを覚える。同じ問題を何度も解き、確実にできることを増やしましょう。

2. 自分の苦手科目・分野・弱点を把握し、基礎を徹底的に押さえる。基礎問題を解いたら予想問題などで類題を解く。入試ではワークのような問題は出ないので、あくまで入試形式の問題を解いて確認するように。

3. 塾のワークや県模試の模範解答の解説をじっくり読んで解答のコツを身につける。記述問題は模範解答がどのように書かれているかを把握し、まねて書いてみるのも効果的。

4. 自分でやってみてよく分からないところは、塾の補習を活用して、先生に納得いくまで教えてもらう。一人ひとりに合ったプリントを出すこともできます。先生をどんどん活用してください。

5. 時間を区切って勉強する。試験時間に区切ると時間の感覚がつかめてくるのでおすすめ。疲れたら気分転換も大事だが、寝る時以外は完全OFFにしない。試験が頭から離れると落ちる、くらのつもりであくまで入試に照準を合わせていよう。

6. トイレなどの空き時間を利用して、暗記モノをやる。暗記したことは翌日必ずもう一度確認すること。

7. 否定的なことを考えず、イメージトレーニングで、ものごとを肯定的にとらえる。「ダメだ」という言葉は禁句。出した言葉は潜在意識に届き、自信をなく

させようとしてくる。これを逆手にとって、「絶対できる」「本番で学んだことを発揮するのが楽しみだ」と言葉に出していいれば、それがその通りになりやすいし、リラックスにもつながる。

8. 早寝・早起きに切り替え、本番の試験に備える。

9. マスク着用、うがい、手洗いを励行し、栄養をとって風邪やインフルエンザから体を守る。

10. 試験前日は胃にもたれないよう軽い食事をする。ゲンをかきついでカツ丼などを食べて体調を崩さないように。

11. 試験前夜まで来たら、もうできることはそれほど多くない。遅くまで起きて勉強せず、早く寝る。

1. 試験開始前には、余計なこととは考えず、目の前の試験に集中する。自分がやってきたことを考え、完璧を狙いすぎないで、いつも通りの力を出せるようリラックスする。

2. 解けないと思っただけか、解けない。解けると思っただけか、意外なところでヒントが見つかるもの。

3. 問題をよく読む。読んで出題の意図をつかむ。

4. 難しいのは自分だけじゃない。他の受験生もみんな同じ。

5. 1点でも落とさない。英単語の形、理科の単位、数学の計算などで生まれる1点のミスが合否を分ける。

急速に進む少子化 県立高校改革案

全国的に急速に進む少子化は平塚市、また神奈川県内でもありまじりません。平塚市内の小中学校は軒並みに生徒が激減しており、各学年のクラス数もどんどん減ってきています。

これに際して、県立高校の再編・統合・廃校などが今後急速に進められます。

県教委が明らかにしたところによると、2016年度から始まる第一期計画案では、4年間で10校1分校を6校に削減。2027年度までの12年間で3期に分け、最終的には20校30校の削減を目標とします。

平塚農業高校と平塚商業高校全日制が農業高の施設を活用して、2019年に統合され、農業科と商業科を設置して産業教育を推進。各分野の相互学習を通して六次産業化などに対応した教育を図る。

④ 農業、水産業は、第一次産業に分類され、農畜産物、水産物の生産を行うものとされている。しかし、六次産業は、農畜産物、水産物の生産だけでなく、食品加工(第二次産業)、流通、販売(第三次産業)にも農業者が主体的にかつ総合的に関わることによって、加工賃や流通マージンなどの今までの第二次・第三次産業の事業者が得ていた付加価値を、農業者自身が得ることに

よって農業を活性化させようというものです。

高浜高校は同年度に定時制課程を新設し、単位制による普通科となる。

少子化と時代のニーズに応じた改革が今後どんどん進められることとなります。

江南高校は学力向上進学重点校に
江南高校は学力向上進学重点校に

江南高校は学力向上進学重点校に

江南高校は学力向上進学重点校に

江南高校は学力向上進学重点校に